学びの基盤となる【読書】



【読書】キャラクター「おっほん」

実施期間

【後期読書週間　１１／１０～１１／２０】

札幌らしい特色ある学校教育

おっほんシート

# 札幌市立しらかば台小学校

## 読書活動の取組

### 読書センターとしての機能

■「企画展示による本の紹介」

～読書に親しみ、
幅広く読書しようとする子どもを育てる～

朝の読書の時間や休み時間など、日常的に本を読むことに慣れ親しんでいる子どもたち。しかし、子どもたちが好んで読む本は、どうしても偏ってしまいがちです。最新の本や人気の本だけでなく、いろいろなジャンルの本にも触れてほしいと思い、不定期で企画展示をしています。




今年度は「今日の気分は何色？展」を開催。表紙の色ごとに本を並べ、「色で選ぶ」という新たな本との出会い方を提案しています。見た目も鮮やかな本棚に、思わず声を上げる子も！色彩心理を紹介するカードも人気でした。




### 学習センターとしての機能

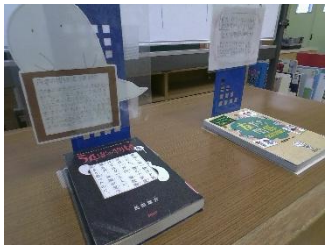
■「本のポップや帯を作ろう」

（4年生・国語科）

～読みたい本を選んで読み、ポップや帯を作る～

書店で本のポップや帯を見た経験から、「友達に読んでほしい」と思う本について、そのよさが伝わるポップを作るという活動に取り組みました。

子どもたちは、読み手に興味をもってもらえるようにと、キャッチコピーを考えたり、イラストを入れてインパクトをもたせたりと、工夫しながら作っていきました。



出来上がったポップは友達同士で交流したり、本と一緒に図書室に展示したりしました。ポップをきっかけに本を手に取る子の姿も見られ、全校のみなさんに新たな本の魅力を伝えられる活動になりました。



### 情報センターとしての機能

■「作家で広げるわたしたちの読書」

（5年生・国語科）

～作家に着目して読み広げ、本を紹介する～

これまでどんな作家の作品と出会ってきたかを振り返り、夏休み期間を利用して同じ作家の違う本を読む活動を設定しました。

読み広げた本を友達と紹介し合うために、オクリンクプラスで紹介カードを作りました。その作家の作品に共通するよさをキャッチコピーにし、読んだ２冊の本についてのあらすじや作品のよさをカードに表しました。

紹介カードは子どもたちが自由に読み合えるようにし、読みたい本の選び方を広げていくことができました。

